

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アニマート桐生あいおい		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 9 月 17 日		～ 令和 6 年 9 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和 6 年 9 月 17 日		～ 令和 6 年 9 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 9 月 17 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様に対して運営規定や支援内容の説明を十分に行うことができている。また、面談や子育てに関する助言を行うなどの支援が行われている。	・職員一人一人が送迎時の情報伝達を大切にしている。 ・直接お会いできない場合には電話にて連絡をとるようにしている。 ・その場でお伝えできないことは一旦事業所で話し合いの機会を設け、相談・共有を行ったうえでお伝えしている。	・職員のスキルアップのための研修会等への積極的な参加。 ・保護者様の不安を軽減するためにも、より一層ご家族に寄り添った支援の提供。
2	・子どもたちが通所を楽しみにしてくれている。	・「たのしい」と思ってもらえるような活動や「たのしみ」につながるおやつメニューを取り入れている。 ・個々に寄り添った支援を心掛けている。 ・児童の特性に関して、職員が共通理解を図り、統一した支援を行っている。	・日々の児童の様子について共有を行い、さらにきめ細やかな支援を行う。 ・ご家庭・学校との連携を図り、より良い支援に繋げていく。
3	・適切な支援のための理解・体制が整っている。	・日々の掃除及び清掃 ・児童それぞれに応じたプログラムの設定を行っている。	・今後とも環境整備に努め、安心・安全な空間で児童が快適に過ごすことができるようにしていく。 ・アレルギーのある児童も安心して食べられるおやつを提供ができるよう、ご家庭との連携を密にしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会がない	・事業所から徒歩圏内に公園等の遊び場がない。 ・大勢の中で過ごすことが苦手な児童もいる。 ・これまで連携を行ってきた実績が少ないため、連携可能な児童クラブや児童館の情報が少ない。	・近隣の児童クラブや児童館があれば連絡を取り、今後機会を設けて交流を行っていく。 ・児童によっては環境の変化が苦手な場合もあるため、十分に配慮を行い、無理のない範囲で計画をしていく。
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会を通しての家族への支援、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会を設けることが難しい。	・年1回の開催を行っているが、時期が定まっていないためわかりにくいのではないかと。 ・すべてのご家庭が参加するわけではなく、交流にも限界があるのでは。	・年度初めに1年のおおまかな年間行事予定を配布することで保護者様が認識し、参加しやすくなるのではないかと。 ・親子やきょうだいで一緒に活動し楽しむことができる内容を盛り込み、よりよい交流を深めることができるように計画していく。
3			